

# 第65回 那覇地区中学校夏季軟式野球大会 競技部に関する競技運営 (競技に関すること)

## 1. 球場・練習会場について

球 場			練 習 会 場		
沖縄セルラー スタジアム 那覇  ≪球場長≫ 宮國	開 場	7:00	沖縄セルラー パーク那覇  [入場] 監督・コーチ 登録メンバ ーのみ	開 場	7:30 (スパイク不可)
	ブルペン	有り		打撃練習	バント、1対1のペッパーまで
	備 考	第1試合 開始時刻 8:30		ブルペン	・一塁・三塁ベンチ裏 入場は、監督、コーチ、先発投手と 捕手のみ ・球場長の確認必要
	備 考			備 考	・バッティングの場合専用のシート を敷くこと ・使用後の片づけをお願いします。
	駐車場等 注意事項	・奥武山で他競技の開催もあり混雑が予想されます。できる限り乗り合わせで お願いします。 ・障がい者駐車場や駐車スペース外に駐車しないようにお願いします。			
ANA BALL PARK 浦添  ≪球場長≫ 根間	開 場	7:00	センター後方 サブグラウンド  [入場] 監督・コーチ 登録メンバ ーのみ	開 場	7:30 (スパイク可)
	ブルペン	有り		打撃練習	バント、1対1のペッパーまで
	備 考	第1試合 開始時刻 8:30		ブルペン	・屋内練習場横(球場長確認必要) 入場は、監督、コーチ、先発投手と 捕手のみ ・借用不可の場合(球場内) 学校会場と同様
	備 考			備 考	使用後の整備をお願いします。
	駐車場等 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。 ・障がい者駐車場や公園内の路肩に駐車しないようにお願いします。			
奥武山多目的 球場  ≪球場長≫ 久高	開 場	7:00	沖縄セルラー パーク那覇  [入場] 監督・コーチ 登録メンバ ーのみ	開 場	7:30 (スパイク不可)
	ブルペン	有り (セラー球場使用)		打撃練習	バント、1対1のペッパーまで
	備 考	第1試合 開始時刻 8:30		ブルペン (セラー球場)	・一塁・三塁ベンチ裏 入場は、監督、コーチ、先発投手と 捕手のみ ・セラー球場長の確認必要
	備 考			備 考	・バッティングの場合専用のシート を敷くこと ・使用後の片づけをお願いします。
	駐車場等 注意事項	・奥武山で他競技の開催もあり混雑が予想されます。できる限り乗り合わせで お願いします。 ・障がい者駐車場や駐車スペース外に駐車しないようにお願いします。			
(注) アップ会場の『沖縄セルラーパーク那覇』において、セラー球場と多目的球場の2会場のアップ会場と なります。4分割での使用となりますのでご理解とご協力をお願いします。					
球 場			練 習 会 場 (無し)		
仲西中学校 ≪球場長≫ 大浜	開 場	7:00	球場長の確認の下、できるアップをお願いします		
	ブルペン	有り	試合間隔35分(キャッチボール、シートノック込)		
	備 考	第1試合 開始時刻 8:30	ブルペン使用について ・オーダー交換終了後、前試合チームの許可をもらう ・前試合をしているチーム優先 ・ブルペンが1カ所の場合、交代で使用する		
	駐車場等 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。 ・駐車場は、会場長から出されている場所・台数を厳守すること。 ・駐車車両は許可書を見える場所に置くこと。 ・学校周辺での路駐や商業施設、小学校等に駐車しないようにして下さい。 コインパーキング等の利用をお願いします。			

## 2. 球場内でのアップ

- (1) 第1試合の球場入りは、試合開始90分前より可とする。遅くともオーダー交換時までに行うこと。
- (2) 第1試合の球場内でのアップに限り、チーム統一のTシャツを認めるがシートノックからは試合用ユニホームを着用すること。
- (3) 芝生保護のため、球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。ただし、学校会場ではその限りではない。
- (4) 打撃練習はバントまたは1対1のペッパーまでとする。
- (5) 外野ノックはグラスラインより内側（土の部分）から行うこと。ただし、学校会場では外野ファウルグラウンドからのノックは可。
- (6) 第1試合のチームは球場内での練習に登録メンバー以外の部員を入れることができる。ただし、試合開始45分前（オーダー交換時）には球場内から引き上げること。
- (7) 投球練習の際の捕手（控え捕手も同様）は、必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。  
また、コーチ1名のブルペン捕手を試合開始まで認めるが、防具については選手と同様に着用するものとする。
- (8) 球場内練習では、競技で使用する以外の道具を使用することを禁止する。  
例) シャトル、プラスチックボール、サンドボール、ラダー等

## 3. 練習会場でのアップ

- (1) 練習会場の使用は、会場到着後本部席（会場長）に確認をとって練習開始すること。その際、設備面、安全面に考慮し、大会本部が使用についての制限を設ける場合がある。
- (2) バッティング練習が可能な練習会場では、安全面に注意して行うこと。
- (3) 練習会場では、可能な限り競技で使用する道具のみを使用すること。
- (4) 第2試合目以降のチームは、球場内（フィールド内）のブルペンを使用することはできない。ただし、学校会場ではその限りではない。  
※ブルペンがフィールド外にある場合は使用を認める場合もある。

## 4. オーダーの提出・記入・交換

### (1) 記入

- ① オーダー用紙は全てフルネームで記入すること。※控え選手もフルネームで記入すること。
- ② オーダー用紙のポジションの記入は数字で記入すること。

### (2) 提出

- ① オーダー用紙の提出は、第1試合はオーダー交換の10分前まで、第2試合以降は前試合の3回終了までに本部へ提出すること。
- ② オーダー用紙は5部提出すること。

### (3) 交換

- ① 第1試合目のオーダー交換は、試合開始時刻の45分前とする。
- ② 第2試合以降のオーダー交換は、前試合の4回終了時に行うこととする。
- ③ オーダー交換後に会場長から会場利用についての説明を両校の保護者代表1名に行い、各保護者へ通知・周知してもい協力を得るようにする。

## 5, シートノック

- (1) シートノックは、試合開始30分前に後攻側から始める。通告時より5分以内とする  
※ 決勝戦は試合開始35分前、7分以内。
- (2) 天候等の事情により省略、短縮、またはサイドノックに変更することもある。  
※ サイドノックでは、芝生保護のため球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。ただし、学校会場ではその限りではない。
- (3) 相手チームは、完全にベンチ内で待機すること。
- (4) シートノック時、マウンドには上がらない。※ブルペンでの投球は可。
- (5) シートノックの捕手は登録選手が行うこと。補助員の捕手は不可。
- (6) シートノック・サイドノックの補助員は全員ヘルメットを着用させること。
- (7) シートノック時の補助員を、登録外生徒（5名以内）で行ってもよい。  
※ ユニフォーム、ヘルメットを着用してのボールの受け渡しに限る。  
※ 登録人数が少ない場合、あるいは学校会場の場合、補助員が少ないのでコーチが代わりに補助を行ってもよい。生徒補助員同様、ヘルメットを着用すること。
- (8) 先攻チームは後攻チームのシートノック終了1分前のアナウンスでベンチ前に整列しノックに備える。
- (9) シートノック時にボールバック（ボールケースも含む）は、地面に置かないこと。（県より）

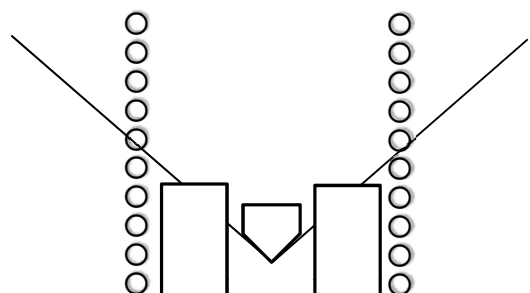
## 6, 用具、装具規定および点検について

- (1) 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を遵守すること。
  - ① シューズ・スパイクについては、色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。  
※ 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。
  - ② アームスリーブにおいては、サポーターと同様の扱い(医療目的)とし、使用する場合には、アンダーシャツと同色とし、投手が使用する場合は両袖の長さを揃えるものとする。  
⇒ 使用する際はオーダー交換時に申告すること。
  - ③ リストガードの使用に関する規定について
    - 中体連主催大会(夏季野球選手権大会)においては、リストガードの使用は認められないが手袋とリストガードが一体型のものについては使用可。
    - 連盟主催大会においては、リストガードの使用を認める。手袋とリストガードが一体型のものも使用可。
- (2) 各チームとも上記の規定を熟読し、事前に用具点検を確実に行うこと。
- (3) 用具点検は、試合前シートノック時にベンチ待機チームに対して行います。
- (4) ヘルメットは、規定に則ったものを最低限8個以上準備すること。
- (5) 点検の際には、ヘルメット、バット、グラブなど用具をベンチ前に並べ、点検に協力すること。

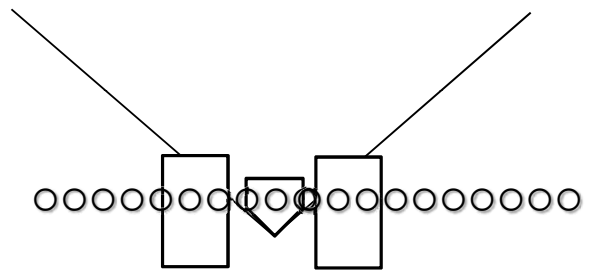
## 7, 試合

- (1) 試合開始の挨拶は、球審の号令で両チームがホームベースを挟んで集合し一列に並び、発声での挨拶可。

- ※ 右の図のように整列する
- ※ 試合終了時の挨拶も同様とする。



- (2) 試合中のアップ（キャッチボール）は2組（4名以内）とする。  
 ※ 攻守交替時に限り、控え選手がファウルグラウンドでの外野方向へランニングすることは認める。  
 ※ キャッチボールの際のゴロ捕球は禁止。
- (3) 控え捕手も常に捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。
- (4) 次打者席では、投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら速やかにスイングを止め、投球を注視するものとする。  
 ※ 打者、次打者以外の選手が、フィールド内で素振りを行うことは禁止。
- (5) レッグガードとエルボーガードを外すときは速やかにおこなうこと
- (6) ベースコーチ、バットボーイともに、規定のヘルメットを着用すること。
- (7) イニングの攻守交代時にヘルメット、グラブの受け渡しがスムーズに行えるように手配すること。
- (8) 攻撃タイムおよび守備タイムは1分以内で行えるようにすること。
- (9) 4回、7回終了時に、会場補助役員がグラウンド整備を行う。  
 ※ 天候によっては行わない場合もある。  
 ※ 整備終了後の直後に登板する投手に限り、ベンチ前でのキャッチボールは認める。
- (10) 天候および負傷（体調不良も含む）による試合の中断は10分を目安として、出場の可否をチームで判断し、試合を再開できるようにする。
- (11) 試合終了後、ホームベースを中心に横一列に並び、勝利校の校歌斉唱を行う。



## 8. 応援

- (1) 攻撃側のチームが優先となる（発声の応援可）※ 学校会場においては、鳴り物の応援は禁止
- (2) 試合開始の礼が終わり次第、先攻チームの応援優先となる。
- (3) イニング終わりは、審判の3アウトコールである。その直後からが攻撃側の優先応援となる。
- (4) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止とする。
- (5) 相手チームへの「やじ」や「走った」等の攻撃側のアンフェアな声かけを禁止とする。
- (6) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を禁止とする。

## 9. 投球制限

投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。

- ・大会中の1日の投球数… 100球
- ・1週間の投球数… 350球

※ 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

10, 投手の12秒、20秒ルールについて、今大会（夏季軟式野球大会）は指導期間とする。

11, 申告故意四球 (6) 5. 05 (b) (1) 【原注】 9. 14

#### 定義7

打者が打撃中にボール4個を得るか、守備側チーム監督が打者を故意四球とする意思を審判員に示し、一塁へ進むことが許される裁定である。守備側チームの監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合（この場合はボールデッドである）打者には、ボール4個を得たときと同じように、一塁（が与えられる）へ進むことが許される。

#### ※申告故意四球の確認事項

- (1) 従来通り、投手が敬遠するために実際に投球して四球にすることも可能。
- (2) 打撃中の投球カウント途中においても守備側の監督が申告することが可能。
- (3) 守備側の監督から申告されれば、球審はボールデッドとして打者に一塁を与える。
- (4) 申告による四球は実際に投球されていない場合、その投手の投球数としてカウントはしない。
- (5) 攻撃側チームが代打を告げた場合、先に代打の手続きを行ってから敬遠のリクエストを受ける。
- (6) 投手が交代した最初の打者が申告による敬遠で一塁に進んだ場合、投手は1人の打者と対戦したとみなされ、交代することができるようになる。
- (7) リクエストにより敬遠を行った場合、その時点でアピール権が消滅する。
- (8) 申告故意四球の例（「例」最終回の裏0-0の同点。攻撃側は1アウト走者三塁、3番打者Cのケース。）
  - ①守備側チーム監督がタイムを要求。
  - ②審判員はタイムのジェスチャー。
  - ③守備側チーム監督が、審判員に故意四球の意思を伝えた。
  - ④球審は、打者に一塁へ進塁の指示を行う。
  - ⑤打者走者が一塁に到達し、4番打者Dが打席に入り球審は「プレイ」を宣告。
  - ⑥打者Dのボールカウント2B-0S時に、守備側チーム監督はタイムを要求。
  - ⑦守備側チーム監督が、審判員に故意四球の意思を伝えた。
  - ⑧以下省略。

# 第65回 那覇地区中学校夏季軟式野球大会 マナーチェックの実施について

那覇地区中学校体育連盟軟式野球専門部

## 1. 目的

沖縄県中学校野球選手権大会 大特別規則10(9)に基づき、学校教育の一環として行われる中体連主催の大会には、中学生らしいマナー・服装で参加させることを目的として、本大会においても参加校登録選手を対象に「マナーチェック」を実施する。

※ 今大会は接触を避けるため大会役員によるマナーチェックは行いません。各校でチェックして下さい。

## 2. 実施方法

(1) 各校引率教師が責任をもって「マナーチェック」を実施する。

(2) 点検項目

項目		チェック基準
1	頭髪	相手校に不快や威圧を与えるような ○ 洗髪や脱色 ○ そり込みや刈り込み ○ 極端な眉そり などをしていないか。
2	爪	競技に危険を及ぼすような ○ 故意に伸ばされた爪 ○ 投手指先へのテーピング など をしていないか。
3	装飾品	競技に支障をきたす(大会取り決め事項に禁止されている)ような ○ 装飾品 (ピアス、ネックレス、ミサンガ、リストバンド、リストガード等) を身に付けていないか。 ※ チタンブレスレット、ファイテン、ネックレス等の着用は不可
4	ユニホーム	全選手が ○ 同色、同型、同意匠のユニホーム・帽子・アンダーシャツ・ソックス・オーバーストッキングを着用しているか。 ※ オーバーストッキングは長さ(ローカット、ミドルカット等)を統一したものを着用すること。カラーソックスは不可。 ※ <u>シューズ、スパイクの色については、色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。</u>  (注) 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。

※ 大会2日目以降についても、マナーに関する決まりを守ること

『沖縄県中学校体育中体連軟式野球専門部』より抜粋